

産業部関係

■農林課

水稲は、全もみ数が「平年並み」となりました。作柄は、出穂期となる8月上旬の気温・日照時間が平年を上回り、9月中旬以降も天候に恵まれたため登熟が進み、「やや良」となりましたが、カメムシによる被害が多発し、「着色粒」が増えたこと等が響き1等米比率が低下しました。このため、次年度以降の防除計画が課題となりました。

県北地区7市町の委託を受け建設を進めていた県北地区死亡獣畜保冷施設は、10月末に完成し、11月2日から受け入れを開始しました。

公有林整備事業は、栄字家向地内の除伐事業（7・70ha）が完了しました。

有害鳥獣の被害対策は、15件の捕獲許可申請に対し、11月20日現在で7頭の熊を捕獲しました。今年度は、農作物及び人的被害を防止するため、鳥獣被害対策実施隊が集落点検、緩衝帯を設置した成果もあり、例年に比べて許可申請件数、捕獲頭数ともに減少しました。

■商工観光課



▲丹精込めて育てた農産物が一堂に並んだ展示会場

第9回北秋田市産業祭を10月24日と25日に鷹巣体育館で開催し、75ブースにおいて事業所及び商品の紹介、屋内外での物販が行われました。今回は、さがけ新報社とタイアップした「ふるさと彩発見in北秋田」の開催や、当市が参加している東京都板橋区ハッピーロード大山商店街「これたて村」の出店などもあり、2日間で延べ1万4500人が来場し、盛況のうちに終了しました。

「あきたリッチセミナー in NAG OYA」が、11月17日に開催され、中京圏の企業に対し、市の企業誘致制度の紹介と観光土産のPRを行いました。

ました。また、市と商工会との意見交換会を12月2日に開催し、事業の状況報告や商工業振興施策等について意見交換を行いました。

特産品は、11月10日に特産品推奨認定審査会を開催し、食品3品目を新たに推奨認定特産品として認定しました。9月12日と13日には秋田25市町村対抗駅伝会場のご当地自慢フェスティバル、10月10日には秋田大学朝市、11月23日と24日には東京都板橋区ハッピーロード大山商店街で北秋田市秋イベントが開催され、北あきたバター餅をはじめとする市の特産品販売が行われ、大勢の買い物客でにぎわいました。

森吉四季美湖紅葉まつりが、10月18日に森吉山ダム周辺で開催され、ウォーキングやカヌー体験などに多くの来場者が訪れました。



▲紅葉が映える四季美湖でカヌーを楽しむ来場者

10月18日、東京都三鷹市で開催された三鷹の森フェスティバル2015に参加し、物産販売と観光PRを行いました。

紅葉時期の森吉山阿仁ゴンドラの利用客数は、8063人で昨年と比較して1479人の減少となりました。シルバークロウイク等を含め連休時の悪天候が原因と考えています。秋田県と協働で進めている「まるごと森吉山観光振興プロジェクト」では、森吉山ビジターセンター「ぶらっと」が10月末に完成し、12月3日にビジターセンターとリニョールオープンした山麓駅舎のオープニングイベントを行いました。

冬期間における大館能代空港の利用促進のため、12月1日から大館能代空港発着の航空機利用者に対し、航空運賃の一部助成を開始しました。

建設部関係

■都市計画課

住宅リフォーム緊急支援事業は、10月末現在で補助金交付決定件数311件、交付決定額441万3千円です。

市営住宅の宮前町団地は、計画どおり10月1日に供用を開始しました。引き続き南鷹巣団地建替のため、移転が完了したJ・K・L棟の解体工事に着手し、併せて基本設計に基づくと

15戸の実設計を発注しました。

■建設課

地域高規格道路大曲・鷹巣道路整備促進期成同盟会主催による大曲・鷹巣道路整備促進フォーラムが、10月21日に文化会館で開催され、沿線の各関係団体をはじめ、住民と市町村が一体となって整備促進に向け取り組みを確認しました。

県道矢坂糠沢線整備促進期成同盟会総会が、11月4日に開催され、未供用区間の早期供用と整備促進を求め要望活動を継続していくことを確認しました。

■上下水道課

上水道事業は、東中岱地区舗装復旧工事が完成しました。簡易水道事業は、前野地区配水管布設工事、木戸石・八幡岱地区簡易水道配水管布設工事、東地区簡易水道高区配水管布設工事を発注しました。

森吉・合川地区統合簡易水道施設整備事業は、米内沢送水管布設工事5件（第1工区、第4工区及び内陸線路横断）を2か年の継続工事として発注しました。

消防本部関係

■常備消防

平成27年8月21日から11月19日までの火災及び救急出場件数は、次の

とおりです。

火災件数は、車両が1件、その他が1件です。救急出場件数は330件で、搬送人員は318人です。種別では急病218件、一般負傷43件、交通事故21件、その他48件です。また、救助出場は10件で1人を搬送、ドクターヘリの出動要請は13件で、11人の傷病者を搬送しました。

火災予防対策は、広島市で10月に発生した飲食店火災を受け、管内の飲食店に対する立入検査を実施しました。また、警察と合同で、危険物や毒劇物の貯蔵運搬車両に対する路上での立入検査も実施しました。

■非常備消防

森吉第3分団、第4分団に、9月17日、軽四輪駆動の小型動力ポンプ積載車を更新配備しました。秋の火災予防運動では、初日の11月1日に市内3地区において、火災を想定した放水訓練、遠距離中継送水訓練などを実施したほか、訓練終了後は分団ごとに火災予防巡回、チラシの配布を行い火災予防意識の高揚に努めました。

教育委員会関係

■総務課

今年度、新教育委員会制度のもとに第2回目の会議を開催し、平成

28年度教育施策の重点事項について活発な意見交換が行われました。

■学校教育課

平成27年度秋田県学校関係緑化コンクールにおいて、学校林等活動の部で鷹巣南小学校が県知事賞、学校環境緑化の部で鷹巣南中学校が県教育長賞を受賞しました。

■生涯学習課

北秋田市花いっぱい運動推進協議会主催の花壇コンクール表彰式が、10月21日に行われ、14団体と5個人が表彰されました。

伊勢堂岱遺跡世界遺産登録推進事業として、ジュニアシンポジウムが10月25日に文化会館で開催され、11人のジュニアボランティアガイドが、世界遺産登録の早期実現を願って、伊勢堂岱遺跡に寄せる思いや意見を発表しました。



▲伊勢堂岱遺跡の素晴らしさを再認識したジュニアシンポジウム

10月18日、東京都三鷹市で開催された三鷹の森フェスティバル2015に参加し、物産販売と観光PRを行いました。

紅葉時期の森吉山阿仁ゴンドラの利用客数は、8063人で昨年と比較して1479人の減少となりました。シルバークロウイク等を含め連休時の悪天候が原因と考えています。秋田県と協働で進めている「まるごと森吉山観光振興プロジェクト」では、森吉山ビジターセンター「ぶらっと」が10月末に完成し、12月3日にビジターセンターとリニョールオープンした山麓駅舎のオープニングイベントを行いました。

冬期間における大館能代空港の利用促進のため、12月1日から大館能代空港発着の航空機利用者に対し、航空運賃の一部助成を開始しました。

建設部関係

■都市計画課

住宅リフォーム緊急支援事業は、10月末現在で補助金交付決定件数311件、交付決定額441万3千円です。

市営住宅の宮前町団地は、計画どおり10月1日に供用を開始しました。引き続き南鷹巣団地建替のため、移転が完了したJ・K・L棟の解体工事に着手し、併せて基本設計に基づくと

第10回北秋田市文化祭が、10月31日から11月2日まで文化会館と鷹巣体育館で開催され、個人や団体が取り組みの成果を発表しました。

第10回浜辺の歌音楽祭が、11月3日に開催され、これまでで最多となる23団体が参加し、日頃の練習成果を発表しました。



▲23団体が趣向を凝らした合唱曲を披露した音楽祭

■スポーツ振興課

9月13日に行われた「秋田25市町村対抗伝ふるさとあきたラン！横手大会」で、北秋田市チームは見事5位入賞を果たしました。

第25回100キロチャレンジマラソン大会が9月27日に行われ、1693人のランナーが約2800人のボランティアスタッフに支えられ、自己の限界に挑戦しました。市の一大イベントに定着した大会の継続に向け、今後も支援に努めます。